

第2回「寒河江市学校施設整備計画」地域説明会 質疑応答

会場：寒河江小学校 体育館

日時：令和4年10月15日（土）15時00分から16時30分

参加人数：8名

出席者：教育長

学校教育課長（兼）学校再編整備室長

学校再編整備室 室長補佐（兼）係長

学校再編整備室 学校再編整備係主任

（学校教育課長）

説明に対してご質問をお受けしたいと思います。ご質問お願いします。

（発言者A）

賛成反対ではなく一般市民として、これからどうなるのか心配で、よろしくお願ひします。この説明会が何のために行われているのか、参加者が少ないのは異常ではないかと不安に思います。原因の1つは、第1回の説明会で、内容については、決まっているのではないかと。誰が決めているのか。市民のみなさんの意見を聞き入れた様子がないということで、あきらめムード、そういうことで今日の出席者が少ないような感じがします。今回、2回目参加でして、説明会にはいろんな方が参加しており、いろんな意見がありましたが、学校再編に関心をもつ市民の理解、納得を得ていないのではないかと、理解していないのではないかと、一方的に市当局で自己満足、今回も人数を見て9人しかいない。こういうことであれば、何のために説明会を開催したのか。みなさんが説明したという実績のために開催していると感じております。寒河江市と似たような再編計画を富山市で進めております。違いが明確に表れております。富山市では保護者や地域の方との話し合いからスタート、市が発する情報、考えは明確でオープンにされています。一方、当市を見ますと、決まったこと変わらないという説明では、市民の意見を聞く耳をもたないのかと心配しております。説明責任、透明性の確保、情報開示を少し軽視しているのではないかと心配しております。市民や保護者のみなさんからも、検討については納得していない、おかしいのではないかと疑問の声も仲間から聞いております。

2つほど提案したいと思います。先ほど、進め方とか、いろんなものについては、2回目は変わってきましたが、1つ目としては、市民と一緒に考えていくこと、2つ目は、これを1年程度の期限として考えをまとめ公表する。この2つについて即答は難しいと思いますので、のちほど回答の公表をお願いしたいと思います。特に用地問題については、今そういう考えであれば、早急に今の用地問題をストップして、決定したならば用地問題について考えればいいのかと思います。以上、2点お聞きしたいと思います。

（教育長）

ありがとうございます。時間をかけて市民の方のご意見を聞きながら決定し

ていきたいと思っております。そのためにこういった説明会をして、ただ、ご指摘がありましたように人数が少ないということは、この会議を開催するにあたって周知不足の部分があったと反省をるところです。いろんなご意見があったので、例えば、小学校の統合、中学校の統合についての検討案を考えたので、それについてもご意見をいただきたい。ご意見を伺いながらよりよいものにしていきたいというスタンスですので、いつまで決めなければならないからとか、そういった姿勢で行っているわけではありません。ご意見をいただきながらよりよいものにしていこうというのは、今おっしゃられたことと同じ考えでやっています。

(学校教育課長)

用地選定については、いろいろなご意見をいただいておりますので、現在ストップしている状況でございます。ご意見を聞いて方針が決まったら再開する予定です。その他ございますか。

(発言者A)

ただいまの説明で学校整備の関係ですが、最後の方は大規模校の文科省からきたものがほとんどじゃないかなと思います。地域、寒河江市、地域に密着した学校再編を考えなければならないと思います。このままいけば寒河江市の計画は、合意形成なされないまま、計画を進めるのはあってはならない。あくまでも文科省の学校整備については、あくまでも最終的には大規模でなくてもいいんだよ、小規模でもいいんだよ、地域のみなさんと合意を図って計画を進めてくださいとあります。十分理解して、検討していただきたいと思います

(教育長)

こういうところはこう考えた方がいいなどのご意見をいただければと思っておりますし、これからも多くの方々からご意見をいただきたいと思っていますところ。

(学校教育課長)

ご質問なければご意見を頂戴したいと思います。

(発言者B)

孫もおりませんが、地域のことを考えると学校再編というのは、本当に子どもたち、保護者が望んで、もっとちゃんとしてもらわないと困るという意見の中から出てきたのかどうか、寒河江市では耐震化とか、クーラーとか全部これまでおわたわけですよ、耐震化はどこの学校でもしなければならぬということ、耐震化したり、児童生徒たちが勉強しやすいようにクーラーとか備えつけたりして、快適に勉強できるような環境作りをしてきたと思います。学校再編の目的というのは、校舎が50年たって古くなっている、先を見据えれば少子化が進むからということで、今のうちにしなければいけないということで、始めたんだろうなと思うのですが、保護者の中から、児童生徒の中から、自分たちのいる学

校が、どうしても勉強しづらい、どうしても通うのに大変だとか、学校側に対する要望があったのか、そういうものがない場合に、頭からやっていくよということでは、保護者も市民も納得できないんだと私は考えております。地域と学校は密接に関係している。学校があるからこそ、その地域が子どもたちにこうしなければならないとか、子どもたちも地域の方に育てられながら成長してきているんだと思います。そういうことがなくなってしまうのではないかと心配しております。ですから、もう少し市民の意見をよく聞いて、児童生徒、保護者の意見も聞いて、もう少し慎重に進めるべきではないかなと思います。今、政府ではさまざまなものがデジタル化とか、大規模に統合して、1つに統合して小さくするとか、効率優先の政治が行われていますが、学校再編もそのうちの1つではないかなと私は思います。以上です。

(教育長)

ご意見ありがとうございます。寒河江市では、子どもたちが過ごしやすいように普通教室にエアコンを入れて、理科室や音楽室等にもエアコンを入れております。安全安心に学習できるように工事等もやってきました。ただ、各学校の校舎も50年をこえる年数になってきており、学校を新たにするのは2、3年ではできないので、将来的にこうなっていくと、それを見越して今の計画をということ考えた計画であります。計画では、先ほどの資料にもありましたような子どもたちの数が減り、複式学級が増えていく状況となっております。複式学級が悪いとかそういうことではありませんが、これから考えたときに、少ない人数よりも少し多い人数で子どもたちが学んだ方がプラスになるのではないかなと思います。絶対にクラスの人数を増やさなければならないということではないわけですし、実際に町とか村では人数が減って行って複式学級になっているわけですが、寒河江市で考えたときに、校舎が老朽化してきていて建て替え時期にきている。そうしたときに、今までと同じ学校では、学年2人とか3人になってしまうところもある。そうしたところは、よりよい学習環境の中で考えたところです。ただ、地域の方の思いも大事にしなければならないですし、例えば、統合したあとの校舎の問題、市全体の公共施設の問題、そういったことも含めて考えていかなければならないと思っております。参加者が少なくご心配だという気持ちもそうだと思いますが、今後とも意見をお伺いする機会を設けながらきちんと対応する姿勢でいるところです。

(学校教育課長)

小中学校の統合に関するご意見を伺いたいと思います。こちらから指名させていただきます。

(発言者C)

今回出席させていただいたのは、今後どうなるのか全然わからなかったのが参加させていただいたのですが、統合するのは少子化なので、していくべきだと思うのですが、人数があまりにも大きすぎるのはちょっと問題ではないとか、いろんなデメリットがでてくるのかなと思いました。ただ、メリットもあるなと

思いました。今回参加者の方が少ないなと驚いております。これからも保護者向けの説明会なども行って、説明会に参加される方のたくさんの意見を聞いていただければと思います。

(教育長)

今日の午前中の説明会でも、保護者向けの説明会を開催してほしいというご要望をいただきました。今後、保護者向けの説明会の準備をしていきたいと思っております。そこでまた、ご意見等いただければと思います。

(発言者D)

保護者として参加しておりますが、他の方のご意見でもありましたが、なんでこんなに少ないんだと思ったんですが、私自身、説明会を知ったのが11日に学校からメールがきたので知ったという状況でした。15時からということで、あわてて参加して、ギリギリにきたところでした。説明会で意見を伺いたいということであれば、日程に余裕を持たせて周知を十分にさせていただきたいというのが正直なところではあります。他の説明会の会場は、体育館できつぎつと行われているようで、スケジュールが決まっています。それに合わせるような、そんなことを感じたのが正直なところでございます。個人的には2校案の方がいいなと思っております。どうしても人数が多すぎるのは不安です。そのほかにも財政もありましたが、大きいものを建てたとしても生徒数が減って、すかすかになっちゃって、無駄になってしまうと感じているところです。県外で仕事をしている友人がいるのですが、子どもが減りすぎて廃校になっているところがあるのですが、そんなことを感じたところです。ただ、両方ともに改築するのは大変だろうなと思うところはあるのですが、以上です。

(教育長)

ご意見ありがとうございます。周知につきましては、9月の市報にも載せたのですが、周知が足りないということで申し訳なく思います。今回、お昼にしたのは、前回、説明会を春先にしたときに、夜だと出席しづらいというご意見もありましたので、今回は、夜の開催と土日の日中の開催ということで対応させていただきました。出席については、どこの地区でも可能だということで、我々としては周知したつもりでしたが、まだまだ周知が足りないというのはご指摘のとおりだと思います。大規模校になると心配だということはあると思います。ご意見としてお聞きしたいと思っております。

(発言者E)

子どもも孫も、こちらにはおりませんが、市民として聞かせていただきたいと思います。思い参加しました。今回の学校再編を初めて知ったのは、12月の新聞を通してでした。寒河江市ではこのような話が出ているのだと驚きました。私は、陵東中の2期生です。寒河江中学校に入学して、1年生のときに、おまえたちは4月から陵東中にいくんだって、ただ、学校の校舎はないので、寒河江中学校の南端なんだってということで、新しい陵東中には入らないまま卒業しました。この話題

は、どれだけ子ども、保護者の方、市民の方が知っているのかと心配になって参加させていただきました。

（教育長）

ありがとうございます。今ありましたように、計画について知らなかったという話が、春先も多くありましたので、こういう形で説明会をしたり、ネットに説明動画を載せたりなどしております。これからも市民の皆様を知っていただけるようにしていき、ご意見を伺っていきたいと思います。

（発言者F）

市民として、今後の寒河江市の学校のあり方について、関心がありますので、参加しております。1回目の説明会は全部出席させていただいたのですが、反対意見の方は反対だとおっしゃるのですが、賛成意見の方は、なかなか出席されないのだと思います。私の周りで、教師の方や子どもがいる方、いろんな方から話を伺うと、概ね賛成だと聞いております。サイレントマジョリティーといいますが、賛成だということを表に表明する機会もあまりありませんし、反対だという意見が、新聞も何回も取材にもきて、新聞にも反対意見が書かれてしまうのが本当のところだと思います。子どもたちの反応は、お友達が増えてとってもうれしいという意見が割と多いと聞いております。保護者の方からも、2回統合になる親子さんですが、子ども少ないから仕方ないよね。いいと思うという意見も直接聞いております。大きい学校になると不安だという保護者の気持ちもわかりませんが、例えば、陵南中は学力が向上しております、いじめなどもないと聞いています。なぜ学力が向上したかというのはわかりませんが、例えば数学を教える先生が1つの学年に2、3人いるとすると、いろいろな授業のやり方を出し合っただけで会議をして数学の授業について話し合っただけで、先生たちのスキルアップにつながっていると思います。教科の先生が1人だと、子どもは、その先生のやり方があたりまえだと思うと学力アップにはつながらないのではないかと素人考えですが、そういう気持ちもしております。また、いじめの問題に関して、市のいじめの協議会にも参加しておりますが、例えば、お隣のAちゃんは算数が得意ではなくて一生懸命に考えていた。そこでBさんは答えを教えてあげた。Aさんは自分で考えたいと思っていたのにと泣き出してしまった。そういうようなことでもいじめの1つとしてカウントされてしまうのです。ですから、数ではなくて、内容と解決するまでの日数が重要で、件数が多いからダメということではないと思うので、そういうことも市民の皆さんの理解を得るような説明があってもいいのかなと思います。

（発言者A）

さきほどの話、賛成反対とかではなく、一般市民として参加しておりますが、今回の出だしからおかしいのではないかと感じています。学校の再編ありきなのか、学校整備、要するに児童数の減少、地域格差による不均衡、学校施設の老朽化、財政等の問題をいろいろ議論しておりますが、その前にいかにあるべきか、学校がどうすべきか、地域がどうあるべきかがあまり見えてこなかった。その辺

を十分に検討したのかお聞きしたいのですが、もう一つ、10月12日に説明会が行われていて、翌日、新聞に小中再編に新提案ということで報道されました。これを見ますと3校統合校を新設し、まちづくりと連動した公共施設を併設するとか、陵東、陵西を統合し、陵南を改築する案を追加した。これはわかりますが、これをどういうスケジュールで行うのかが出ていないわけです。その辺を確認しておきたいです。

(教育長)

2点目のスケジュールに関しては、計画では今年の3月に中学校は1校案でと決めたわけですが、いろんなご意見があります。他の公共施設との併設というのも一つの案だと思います。先ほどありましたように、用地選定についても、選定する場合の課題を含めて考えていたわけですが、2校にすべきだというご意見もあるので、それは止めているという状況です。賛成意見、反対意見、それぞれ聞いて、様々な面から協議し市全体で考えるのが必要だと思います。例えば、小学校の統合について、小さい学校、年数が経っているところ、今の計画でいうと新しい校舎を10年後に建築予定であるとか、ここは避難所として残さなければならないとか、そういったことを総合的に考えなければなりません。これは、教育委員会と市の建設管理課であったり、公共施設マネジメント推進室であったりと協議しながら考えていかないとよりよい計画にはならないということだと思います。そういう意味でも時間をかけてやらないといけないので、何月まで案を作るというのは、今の段階では申し上げられない状況です。また、どのような学校というのは、公立の学校ですので、国の方向性があります。例えば、「令和の日本型学校教育の構築を目指して」という答申もできましたし、寒河江市の教育振興計画もあります。そうしたことも踏まえて考えていかなければならないということです。どういう学校にしたいかについては、あり方検討会でも意見等ですでているところですので、そういったことも検討しながら進めていく必要があります。あいさつでも申し上げたとおり、こんな学校にしてほしいなということも、是非ご意見を出していただきたいと思います。

(発言者G)

一つ、市民の方と一緒に考えるという提案がありました。午前中も申し上げたのですが、出された意見はどうなってくのか、いろんな意見がでるからという回答でありました。話し合いをしてということでしたが、表示がですね、年度内にならないかもしれないとか、ストレートに書けばいいじゃないですか。今、ストップしていますと資料のなかに。いろんなことがあるようです。最新の状況、それを書く、市民に聞く、話す、もっとも基本的なことだと思います。聞きます、話し合いますといっても、説明会で前に発言したこと、市議会で発言したことをもってきて、同じことをそのままもってきて、このままだったら同じことを6回も一般市民に言わせるんですか、午前中あったことをここで話をするなり、聞くとか聞かないとか、最新のところ、姿勢を見せていただきたい。午前中も申し上げました。

もう一つ、計画案は手落ちのところが多いと思います。午前中も他の保護者の

方を集めて話をしてくれとあったのですが、以前に行われた説明会のときに、こういった学校になりますかということについて、これだと20何ページに書いてありますが、文科省とか寒河江のこととかそんなことを聞いているのではないと思います。今現在、学校のなかでこういったことが起きていて、いろいろやっているといます。そういったことをしても、どうしても、子どもの将来、人数を考えると、どうしても統合が必要で、どんな学校を目指しているのか、そこからスタートすべき、そこが再編のスタートだと思います。その後に建物、複合化でも何でもいいです。1校と2校どちらでもいいですが。筋道が最初にいいましたスタート、6回の検討委員会の会議録を見ました。話をしていないように見えます。学校像、子育て、きちんとしていくべきじゃないかという意見がありました。きちんと話をしていないように思います。具体的に市民が一番感じているところだと思います。どういう学校、どういう教育、どういう子ども、地域、きちんと市民の方に説明しないと、この計画の案は浸透しないと思います。どこからかもってきた、文科省からもってきたではなく、きちんと自分のものにして、この地区のことはどうするとか、そうした会議を開けば、教育委員会がいろんな考えを聞けるといいます。検討委員会では、あまり話をしていないように会議録からは見えます。本当のところから再編を考えて、この整備計画は再編計画と別にして、再編計画を議論しなおす。地域に問いかける。そして、こういった学校を作るのかをきちっとお示しする。保護者と話をしましたが、なぜ統合するのか、きちんと説明するということだと思います。

(教育長)

ご意見ありがとうございます。より市民の方、そして保護者の方にもわかりやすく説明できるように対応してまいりたいと思います。

(発言者A)

さきほど教育長の発言で、市で決めたという発言がありました。7月に寒河江市の方が新聞に投稿したのを見ました。検討委員会でいろいろあったが、委員の意見が中学校2校案に賛成が5、1校案に賛成が3、どちらともいえないが6だったので結論がでないので、1校、2校の両論併記として、市当局に委ねたとあります。最終的に、どこで決定したのか、そういうものがないから、市民が不信感をいただいているように思われます。この辺は、はっきりした文言でお話していただければありがたい。もう一つは、人口が10年後、20年後、ぐんぐんと減っていますが、10年後に10歳で小学生になっていけば、はたして、10年後、20年後を考えての学校の再編は必要ないと思います。今現状を見て、寒河江市、国の人口動態調査の人数を見てやっているのかわかりませんが、寒河江市でも若い人にいろんな施策をとっておりまから、そういうことを考え、天童、東根のような、若い人がどんどん帰ってくるような施策を打って、10年後じゃなくて、現状5年先くらいまで見て、動態を考えた方がよろしいんじゃないでしょうか。20年後、私はこの世にはいないと思いますが。

(発言者F)

検討委員として、1校案に賛成ですか反対ですかという多数決をとったのは、7回目か8回目の検討委員会だったと思います。その後、協議を続けていく中で、1校案の方が多くなりました。その後に、ほぼ1校案で決まったのですが、地域のみなさまのことなどを考えると、ここで決めてしまっているのか、不安というか、心の揺らぎがあって、1校案、2校案併記にしましょうかとなったんだと思います。7、8回目だったと思います。ですから、検討をしての最終的な多数決はとっていないと思います。ただ、その後に検討を重ねて1校案が多くなったんです。でも、委員の中で決めていいのかという話になって、答申ですので、こういう意見がありましたと出したわけです。ですから、答申と違うんじゃないか、教育委員会が勝手に決めただということは、違うと思います。他の委員を代表して言わせていただきます。7回目か8回目で決を採ったのですが、その後、変わりましたので。

20年後、先を見なくていいというご意見ですが、例えば、2校つくって、子どもが少なくなった。また、再統合の話になると、陵東、陵西で作った校舎は空き校舎になったらどうするか。結局、税金なので、その借金は私たちの子どもたちに引き継がれるものなので、そこは、しっかりとした計画に基づき学校を作るべきだと思います。20年後、30年後を見据えて。

(教育長)

決定の過程については、答申案は、中学校の1校案と2校案、両論併記だったわけです。教育委員会ではそれを受けて、教育委員会で決めなければなりませんので、検討して案を作って市役所内の調整会議等も経て、3月の教育委員会で議決したということです。今のことを考えてとありましたが、今日、出している数字というのは、昨年度まで出生届が出た人数に基づいております。今年の4月から9月までの出生届数は、前年度の同時期と比べて56名ほど減っています。先ほども、もっと人が集まるような施策をすべきでないかということがありましたが、それはその通りだと思います。例えば、国勢調査の結果では、2015年から2020年の間では、県内の市町村すべてで人口が減少しています。寒河江市はマイナス2.5パーセントでした。県平均が約5パーセントでしたので、寒河江の減少率は、低い方から5番目でした。それは、いろいろな子育てに対する施策、給食費の無料化や18歳までの医療費の無料化などの施策の成果だと思います。今後もそうしたことも当然やっていかなければならないと思っております。

(発言者G)

確認です。今は教育委員会で決めた計画をもとに市の計画として作成作業に入っていますよね。前に行われた過程とかは資料見るとわかりますので、それはそれとして、今現在集まっている意見とか、今集まって話をしているのは、今は今とご理解をお願いしたいなと思っております。答申案で2つになって、それを教育委員会で1つにした。市の計画として作っている最中で、いろいろな話が出て資料見るとわかりますから、それはそれとして、今現在出ている意見とか、その

関係で、今、我々が集まって話をしているのは、こういうことだということですので、前は前、今は今ということで、ここにいらっしゃる方のご意見をとります。ですから、答申案で2つになって、それを教育委員会で1つにした。市の計画として今作っている最中で、いろいろな意見が出ていて、それをどうしようかとこうして集まって話をしているわけですから、それだけでいいわけですから、前のことは記録に残っているわけですから、見ればわかることですので、それはいろんな場でやれることですので、そういったことをやるのがこの先のことだと思いますので、この場ではこの場でよろしいのではないかというのが、私の考えです。

(発言者H)

わかりやすい言葉でいうと、あり方検討委員会で答申したものをベースに計画を立てた。それをもとにいろいろ議論しているので、あり方検討委員会の中身がこうだったとかを聞きにきているわけではなく、ある意味、公務員に準じた守秘義務だと思いますね。それは、きちんと守っていただきたいし、だれが発言したかは、議事録にないわけですよ。誰が何を言ったかわかるようにしていただくと、こういった立場で1校案を主張されたんだなとわかりますので、要望として申し上げたいと思います。計画に対する意見をどういう風に反映していくのか、それこそロードマップを示していただかないと、今日参加された方も何のためにやっているかわからない。この出席率では、これから不安です。いろんな人に声をかけますが、関心をもっていただいて、責任ある立場の方はここに来るべきだと思いますので要望として申し上げたいと思います。

(教育長)

ご意見ありがとうございます。

(学校教育課長)

ありがとうございました。予定の時間になりましたので、質疑応答はこちらで終了させていただきます。